

平成 27 年度 第 3 回拡大幹事会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 平成 28 年 1 月 19 日（火）15 時 00 分～17 時 30 分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2 F 会議室
3. 出席者 橋本親典，甲斐芳郎，古田満広，松島学，島弘，紙田直充，横井克則
水越睦視，氏家勲
(事務局) 新居宏美 計 10 名

4. 配付資料

- 3-0：議事次第，出席者名簿
- 3-1：平成 27 年度第 2 回拡大幹事会議事録（案）
- 3-2：12/8 日開催支部長会議関連資料
- 3-3：平成 27 年度活動状況および今後の予定
- 3-4：平成 28 年度事業計画(案)
- 3-5：平成 27 年度第 3 回拡大幹事会参考資料
- 3-6：平成 27 年 12 月収支計算書
- 3-7：JCI 本部理事会資料（12 月定例理事会）
- 3-8：JCI 四国支部設立 10 周年記念誌編集委員会第 1 回議事録(案)
- 別冊：JCI 四国支部設立 10 周年記念誌 draft

5. 審議事項

橋本支部長より拡大幹事会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果を以下に記す。

（1）平成 27 年度第 2 回拡大幹事会議事録の確認（資料 3－1）

平成 27 年度第 2 回拡大幹事会議事録(案)が承認された。

（2）支部長会議について（資料 3－2）

橋本支部長より平成 27 年度第 2 回支部長会議の概要について説明がなされた。主な内容は以下のとおり。

- ・ 支部長と本部理事は同一人物でなくてもよい。
- ・ 支部に関する事項についても本部理事会および本部総会で議決する。支部には議決権がないことを認識していただきたい。
- ・ 本部において助成金制度を検討しているが，実施時期は平成 28 年度以降となる可能性がある。

(3) 役員会提出議案について(資料3-3~3-6)

2月4日開催の役員会に諮る議案について各担当者より説明があり、以下のとおり確認した。

① 平成27年度活動状況および今後の予定について

- ・ 「生コンセミナー in 徳島」の収支予算書を作成し必要経費を明確にする。
- ・ 「各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会」の成果報告書を年度内に委員会費用で作成する。成果報告会は平成28年度に開催する。
- ・ 「四国の生コン技術力活性化委員会【第2期】」の活動報告に6編の論文の要旨を追記する。
- ・ 「四国のコンクリート構造物インフラドッグの実現に向けた調査研究委員会」の活動内容を確認した。

② 平成28年度事業計画案および収支予算案について

- ・ 平成28年度通常総会に本部役員の出席を要請する。
 - ・ 総会のスケジュール案を承認した。
 - ・ 総会の議長は橋本支部長とし、議事録作成は甲斐幹事、議事録署名は松島幹事と古田幹事とする。
 - ・ 総会後の特別講演は設立10周年記念事業の一つとして位置づけ、辻先生(群馬大学名誉教授)に要請する。
 - ・ 総会時の受付担当および総会後の懇親会費用については、これまでどおりとする。
 - ・ 平成28年度から新規にスタートする研究委員会を承認し、以下のとおりとする。
四国の生コン技術力活性化委員会【第3期】:3期目である。委員長を橋本支部長とする。
四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会:これまでの高校生へのコンクリート教育助成を主に審議する委員会であり、支部の常設委員会とする。委員長はJCI四国支部長とし、予算はコンクリート甲子園への助成金5万円を含め、年間20万円とする。
コンクリート構造物の劣化診断の高度化に関する研究委員会:年次大会2014の還元金の有効活用として2年間限定の特別委員会とする。若手研究者が中心となり、予算は年間50万円を計上する。
 - ・ コンクリート教育助成に関する常設委員会が設置されるので、資料3-4の「8. コンクリート教育への助成」の項目は削除する。
 - ・ 現場見学会はNEXCO案を承認する。
 - ・ JCI年次大会2014の還元金212.5万円を主に以下の事業の活動費に充てる。
コンクリートサミット in 高知への共催、四国支部設立10周年記念誌発刊・総会時の特別講演、コンクリート構造物の劣化診断の高度化に関する研究委員会
- ③ 平成27年度収支決算(案)・平成28年度収支予算(案)について
- ・ コンクリート構造物の劣化診断の高度化に関する研究委員会の年間予算を25万円から50万円に増額したため、平成28年度研究委員会費95万円を120万円に修正する。

- これまでのコンクリート教育助成金はコンクリート教育に関する委員会活動費に含まれるので、本項目は平成 28 年度より削除する。
- 四国コンクリート技術懇話会の残高を確認した。また、残金の使用方法として講習会開催案内の郵送費に充ててはとの意見がだされた。

(4) 本部理事会の報告 (資料 3-7)

氏家本部理事より本部理事会(12 月定例会)の概要説明がなされた。

(5) 四国支部設立 10 周年事業について (資料 3-8, 別冊記念誌 draft)

設立 10 周年記念誌について説明があり、以下の意見がだされた。

- 記念誌作成費 47 万円は当初の予算である 30 万円を大幅に上回っているので役員会の承認が必要である。
- 様式がアンバランスである。
- 製本外注先に校正をお願いした場合、約 70 万円必要になる。
- 記念誌に関する意見があれば事務局に提案する。
- 2 月 4 日の役員会に本 draft を提示し、最終決定する。

以上

(記録者：古田 満広)